

町長直撃インタビュー

町長再任にあたり、町民の皆さまから町長に聞いてみたいこと・ご意見・ご要望をお伺いし、町長よりお答えをいただきました。

Q なぜ町長になろうと思ったのですか？ (高校生 女子)

A 高校生の頃弁護士になったかった。人のためになる仕事をしたいかった。大人になって同じ思いで町長になりたいと思った。

Q 駅や駅周辺が寂しいので、もう少し賑やかな感じにすれば利用者も増えると思うのですが…。

A (高校生 男子・女子) 私もそう思います。大きな計画はありますが、実際には膨大なお金がかかります。お店の方々の努力でできる工夫で賑やかにできることから考えるのが一番早いと思います。

Q 最近、公共事業が少ないように思う。公共事業を使って、町の経済の活性化を図る考えは？

A (20代 男性) 日本中、特に長野県は少ないです。国の財政が逼迫(ひっぱく)していることが一番の原因です。長引く不況の克服がその早道だと考えられます。

Q 冬場や雨の日でも、小さい子どもたちが集まって自由に遊べるスペースを作っていたらどうか、強く要望します。

A (30代 女性) 公約は実現してほしい。(初心貫徹です！)

Q 今あるものをどう使うかも工夫できますし、どの辺にどんなものが必要かもお知らせください。

A 男女共同参画社会推進の中で女性も様々な形で社会に出る機会が多くなりましたが、現実問題として家庭(子どもや高齢者)を残しての活動は難しいものがあります。町としてどのような支援をしていただけるでしょうか？

Q 役場の機構がしょっちゅう変わってわかりにくいし、ピリピリした雰囲気を感じる。昔のように気軽さのある中で安心して相談に行ける役場であってほしい。

A (40代 女性) (50代 男性) これからはそんなに変わりません。仕事に真剣なこととおいでいただいた方に硬い表情で接することは違います。尚訓練を重ね、ご要望にお答えできるようにいたします。

Q どんな支援が必要かお知らせください。その上でご相談しましょう。

A (50代 男性) お考えは私も全く同じです。

Q パノラマの借金を町民が背負うのは良くない。また借金の先送りも反対。

A (70代 男性) パノラマの借金は、最初から町の借金と同じ物です。改めて町のものになったわけではありません。できるだけ早く返せるように、皆で努力をしなければなりません。

Q 福祉(デイサービスやヘルパーなど)が充実してきてありがたいが、「自分が動けなくなったらどうしよう…」という心配をいつも抱えています。

A (80代 女性) 私も全く同じ心配を抱えています。誰もそうではないでしょうが。人間である限り、老いていく、死へ向かっていく恐怖をいつも抱えているのだと思います。その恐れからできるだけ離れる努力はしますが、完全にその恐れから逃げられないでしょうね。穏やかな生活を見つけて生きたいですね。

Q このコーナーにご協力くださった町民の皆様、ありがとうございました。

平成17年8月7日執行 富士見町長選挙結果

【得票数】 (届出順・通称名表示)		
佐久けんじ	3,475票	
矢島民雄	4,932票	
【当日有権者数】		
男 6,200人	女 6,416人	計 12,616人
【投票者数】		
男 4,100人	女 4,437人	計 8,537人
【投票率】 67.67%		
(有効投票数 8,407票 無効投票数 130票)		



8月8日 当選証書附与式